

* 本プレスリリースは、アクセンチュア株式会社、住商情報システム株式会社の共同発表です。各社から重複して配信される場合がございますが、ご了承いただきたくお願い申し上げます。



2010年5月26日
アクセンチュア株式会社
住商情報システム株式会社

アクセンチュア、住商情報システム、両社共同で オープンシステムの「OSSマイグレーションサービス」の提供を開始

両社のオープンソースソフトウェア(OSS)活用の知見と 先進テクノロジーを組み合わせ、組織におけるITコストの削減を実現

【2010年5月26日】アクセンチュア株式会社(本社:東京都港区、代表取締役社長:程 近智、以下:アクセンチュア)、住商情報システム株式会社(本社:東京都中央区、代表取締役会長兼社長:中井戸 信英、以下:SCS)は、組織におけるシステムのオープンソース・ソフトウェア(以下、OSS)化の実現に向けた協力を強化し、本日から、両社共同で「OSSマイグレーションサービス」の提供を開始しました。「OSSマイグレーションサービス」はアクセンチュアが提供する「OSSマイグレーション診断サービス」と「アプリケーションOSSマイグレーションサービス」、およびSCSが提供する「インフラOSSマイグレーションおよび保守サービス」から構成されています。

オープンソースの進展によって、組織におけるソフトウェアの使い方は変化しつつあり、全世界的にその勢いが急速に増えています。組織にとってオープンソースのメリットとは、コスト効率がよく、質の高い商用ソフトウェアと同等の機能が実現できることにあります。OSSは、全世界に広がるユーザーコミュニティによって、随時品質や効率性の向上が図られています。

アクセンチュアは、様々なOSSのコミュニティに参加すると共にOSSを活用した官公庁や企業向けシステム構築を行っており、企業向けのソフトウェア、フレームワーク、ツールの標準化を促進しています。アクセンチュアでは、これらの資産をAccenture Innovation Center for Open Sourceに集約し、お客様に最適なOSS化の戦略策定から構築サービスを提供しています。

SCS では、LinuxやMySQLをはじめとするOSSに一早く着目し、高度な要素技術とともに、これらをベースとしたソリューションを提供してきました。2005年に国内で初めて、『MySQL Platinum Partner』契約を、2009年には、『JBoss Premier Business PartnerTM』契約を締結する等、長年提供してきたシステム・インテグレーションやアプリケーション・マネジメント、インフラ構築、アウトソーシングなどの各種サービスと合わせ、OSSを使った商用サポート・サービスを安定した品質でお客様に提供しています。

「OSSマイグレーションサービス」は、これらアクセンチュアとSCSが保有する、OSSに関する資産²を活用し、OSSの有効性診断から、導入、保守・運用に至るまで、一貫したサービスを提供することで、お客様のビジネスに迅速かつ高い効果をもたらすシステム構築を実現します。

■「OSSマイグレーション診断サービス」概要

「OSSマイグレーション診断サービス」は、システムのITコストの削減や老朽化に伴う更改を検討している組織に対して、OSSの有効性を迅速に診断するサービスです。既存システムのソフトウェアやハードウェア資産、および利用状況などに基づき、OSS化にかかる概算費用やROIなど、経営判断に必要な情報を2週間で提供します。

■「アプリケーション OSSマイグレーションサービス」概要

「アプリケーションOSSマイグレーションサービス」は、「OSSマイグレーション診断サービス」の結果に基づき、最適なOSS化に向けたアプローチとマイグレーション計画を策定するとともに、数多くのOSSプロジェクトで実証済みのソフトウェアやフレームワーク、ツールを活用し、効率的なマイグレーションを行うサービスです。

■「インフラOSSマイグレーションおよび保守サービス」概要

「インフラOSSマイグレーションおよび保守サービス」は、OSS化の対象となるアプリケーションの安定稼働を支えるシステム基盤の構築および運用・保守を提供するサービスです。SCSのOSSを活用したシステム基盤構築実績を元に、様々な組合せの中から最適なインフラを構築するとともに、長年のシステム基盤運用保守経験を活用し、インフラ(ミドルウェアおよびハードウェア)の安定的な運用保守を実現します。

*1 JBoss Premier Business Partner はRed Hatが企業向けミドルウェア導入に関し、国内で最も高度な技術を有する戦略的パートナーの認定を行う契約です。

*2 アクセンチュアは、OSSによる開発を支援するAccenture Extendable Custom Architecture for Javaフレームワークを有しており、優れた品質のアプリケーションを効率的に開発するための開発環境および実行環境を提供します。

【アクセンチュアについて】

アクセンチュアは、経営コンサルティング、テクノロジー・サービス、アウトソーシング・サービスを提供するグローバル企業です。豊富な経験、あらゆる業界や業務に対応できる能力、世界で最も成功を収めている企業に関する広範囲に及ぶリサーチなどの強みを活かし、民間企業や官公庁のお客様がより高いビジネス・パフォーマンスを達成できるよう、その実現に向けてお客様とともに取り組んでいます。およそ18万1千人の社員を擁するアクセンチュアは世界120カ国以上のお客様にサービスを提供しています。2009年8月31日を期末とする2009年会計年度の売上高は、約215億8千万USドルでした(2001年7月19日NYSE上場、略号:ACN)。

アクセンチュアの詳細はwww.accenture.comを、アクセンチュア株式会社の詳細はwww.accenture.com/jp をご覧ください。

【住商情報システムについて】

1969年の設立以来、各産業界における長年の豊富な実績と、業務ノウハウの蓄積を活用し、国内外のお客様に、総合的なソリューションを提供しております。

顧客ニーズに対応したシステム・アプリケーションを提供する業務系ソリューション事業、自社開発パッケージソフトを中心としたERPソリューション事業、ITインフラを構築するプラットフォームソリューション事業等の戦略的事業領域に強みを持ち、お客様の個別ニーズとビジネス環境に最適かつ有益なIT製品・サービスをご提供しております。

住商情報システム株式会社の詳細は、www.scs.co.jpをご覧ください。

【本件に関する報道関係者お問い合わせ先】

アクセンチュア株式会社 マーケティング・コミュニケーション部 神田 健太郎
TEL: 045-330-7157 Email: accenture.jp.media@accenture.com

住商情報システム株式会社 広報・IR部 杉岡 孝祐・栗岡 直子
TEL: 03-5166-1150